津興々味

このコーナーでは、「大崎ライフ」をより楽しむための物や技、場所などを毎月紹介していきます。

古川地域発

わが家の米と大豆でつくるわが家の味

自家製みそづくり

①蒸した米に種こうじを混ぜます②室で二晩寝かせます③きれいに出来上がったこうじ④大豆・こうじ・塩・水を混ぜ合わせます⑤粉砕機にかけた後各家庭のみそ部屋へ⑥もうすぐ食べごろ⑦福原さん宅のみそ部屋に並ぶみそ桶

手前味噌（みそ）という言葉もありますが、昔から農家では、それぞれの家でみそをつくっていました。寒い時期に仕込んだみそは特においしくできるそうで、今、古川農村環境改善センターでは古川農産加工クラブをはじめ、農家の人たちが手づくりのみそを作るため、フル稼働しています。

みそづくりのポイントは、こうじにあります。米を四十分ほど蒸し器にかけて、蒸しあがった米を広げてさまします。そこへ種こうじをふりかけ全体に混ぜたあと、室（むろ）の中で二晩寝かします。

「こうじは生き物。温度が上がりすぎても低すぎてもいけないデリケートなものなので、この時の温度管理が大切」と、古川農産加工クラブの会長 福原千恵子さんが教えてくれました。

こうじが出来上がる三日目は、仕込み作業も大詰めです。一晩水に漬けた大豆を大きな圧力釜で蒸した後、作業台に大豆を広げてさまし、こうじ、大豆、塩、水を混ぜ合わせ、粉砕機にかけるとみその仕込みは完了です。

ここまでは、グループの人が共同で作業するので同じものですが、それを各家庭に持ち帰り、家にあるみそ部屋（蔵）の桶（おけ）に移して重しをして寝かせます。温度、湿度などの環境の違いや、途中で別の桶に移し替えていくうちに、それぞれの家庭の味に変わっていくそうです。約一年で独特のコクと風味が味わえるみそに生まれ変わります。

各家庭で作っていたころは、とても大掛かりな作業で大変でしたが、センターには大きな蒸し器や圧力釜、自動温度管理の室があるので、衛生的に、そして楽に作業できるようになったそうです。

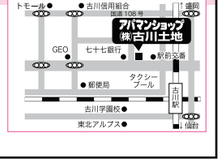
販売免許を持っている人は、朝市や各イベントなどで販売することもあります。また、農産加工クラブでは、みそづくりをはじめ、梅干しや雑煮づくりなどの加工実習や開放講座を開催して、一般の人にも技術を普及しています。みなさんも、自家製みそに挑戦してはいかがでしょうか。

広告

アパマンショップ全国ネットワークで理想のお部屋へナビします

アパマンショップ 古川駅前店

創業 昭和47年
不動産と建設の総合力で
地域に貢献いたします。



宅地建物取引業:宮城県知事免許（11）1000号（社）宮城県宅地建物取引業会会員（社）全国宅地建物取引業保証協会会員 東北地区不動産公正取引協議会加盟

http://www.yoitochi.com 〒989-6162 宮城県大崎市古川駅前大通2丁目6番16号

FURUKAWA-TOCHI 株式会社 古川土地 TEL.0229-23-8484

0120-2-8484-2〈携帯・PHSからも通話可〉

大崎熱情

楽しそうにメンバーの会話が弾み、かたわらには子どもたちが元気に遊んでいます。こうしたにぎやかなミーティングの、何気ない雑談の中から、新たな企画が生まれます。

大崎自然界部は、大崎の豊かな自然や大地の恵みを、次世代を担う子どもたちに伝え、体験を通して大崎の魅力を再発見しようと、無栗沼や化女沼などの自然に魅せられた仲間が集まって立ち上げたグループです。昨年から活動を開始して、これまでに、マガンの観察会、沼やたんぼの生き物調査など、自由な発想でさまざまなイベントやふれあい体験、観察会などを企画しています。

部長の若見朝子さんも、大崎の自然をこよなく愛する一人で、仕事と三人の子育てに忙しい日々の合間を縫って、部の活動を引っ張っています。

「子どもたちには水槽に泡をブクブクさせているから魚が生きているのではなくて、実際の池で魚を飼うためにはどんな環境にしたらいいかを考えられるような教育や体験をさせたい」と朝子さんは、子どもの目線を大切にしています。

環境教育や環境保全などの部の活動資金を集めるために考え出されたのが、米袋で作るエコバッグの販売です。米は大崎のシンボルでもあり、米袋の再利用はエコにも役立ち、シンプルなデザインと「米（マイ）バッグ」という語呂の良さが受けて、昨年の古川秋まつりでは準備した百七十個を完売しました。好評に応えてその後もリオーネふるかわなどで販売し、今までに二百個以上作りました。

エコバッグの評判はマスコミにもたびたび取り上げられて、大崎自然界部の活動も広がってきました。JR古川駅の新幹線コンコースのディスプレイやお出迎え用のポスターなどの製作も行いました。

型にはまった活動でなく、自然をベースにあらゆる視点から「まちづくり」を行う大崎自然界部の動きから目が離せません。

自然大好き・エコも楽しく！

大崎自然界部（古川地域）

広告

多重債務は法律で解決できます

広告

■相談内容／多重債務整理相談
（自己破産　個人民事再生　ヤミ金対策　特定調停　任意債務処理）

■場所／宮城県大崎市古川駅南三丁目15番地　泉ビルA棟101号室
（イオン近く 裁判所南　古川法律相談センター南隣）

■担当／司法書士　大泉　守夫
（宮城県司法書士会所属 認定番号 237092）

TEL 0229-24-1303　FAX 0229-24-2858